

少数台数のリコール届出の公表について (平成28年11月分)
--------------------------------

リコール対象が少数である100台未満の届出について、平成28年11月は15件の届出がありましたので、公表します。

## 1. 届出者：三菱自動車工業株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
11月4日	3918	車名：三菱 型式：DBA-GF8W 他 通称名：アウトランダー 他	57	平成28年 7月18日～ 平成28年 7月21日
不具合の部位等	リヤフロアパネルにおいて、溶接ロボットの溶接ガンの軌道の設定が不適切なため、溶接ガンがリヤフロアパネルの左後部と干渉し、リヤフロアパネルの位置がずれた状態で溶接されたものがある。そのため、車体左後部の強度が不足し、後面衝突時に燃料系部品が破損して燃料が漏れるおそれがある。			

## 2. 届出者：日立建機株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
11月4日	3920	車名：日立 他 型式：YDN-TBA 他 通称名：ZC125M-5 他	21	平成26年11月28日～ 平成28年 3月10日
不具合の部位等	ロード・ローラの電気回路において、電源リレーの選定が不適切なため、リレーとリレーホルダの嵌合力が不足している。そのため、走行時等の振動によりリレーとリレーホルダの嵌合が甘くなり、一時的に電源供給がたたれてフェールセーフが働き、エンジン出力が制限され、最悪の場合、リレーがホルダから外れて電源が供給されず、エンジンが停止して再始動出来なくなるおそれがある。			

3. 届出者：ロールスロイス モーターカーズ リミテッド

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
11月7日	外 2393	車名：ロールスロイス 型式：ABA-681S 他 通称名：ファントムSWB 他	4	平成28年 3月21日～ 平成28年 5月10日
不具合の部位等	アクセルペダルの組付け作業が不適切なため、アクセルペダルが正規の位置に取付けられていないものがある。そのため、アクセル操作を行うと、アクセルのピストンロッドとブッシュが干渉し、最悪の場合、アクセルペダルが戻らなくなり、エンジンの回転数が下がらなくなるおそれがある。			

4. 届出者：KTM JAPAN株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
11月11日	外 2336	車名：KTM 型式：1290ADV5949 通称名：1290 SUPER ADVENTURE	44	平成27年 2月10日～ 平成27年12月11日
不具合の部位等	電子制御式リヤショックアブソーバにおいて、制御プログラムが不適切なため、ショックアブソーバ圧縮時にラバーシール部に過大な油圧がかかり、オイルが漏れることがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、ショックアブソーバが破損し、走行安定性を損なうおそれがある。			

5. 届出者：エルシーアイ株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
11月11日	外 2392	車名：ロータス 型式：ABA-1120 他 通称名：エリーゼ 他	6	平成28年 4月12日～ 平成28年 5月28日
不具合の部位等	制動装置において、ブレーキマスターシリンダーの製造管理が不適切なため、誤ったストップボルトを組み付けたものがある。そのため、後輪ブレーキが失陥した際に、ブレーキペダルを踏み込んでも前輪ブレーキの油圧が正常に発生せず、失陥時の制動力が保安基準第12条に適合しないおそれがある。			

6. 届出者：現代自動車ジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
11月11日	外 2403	車名：ヒュンダイ 型式：ABA-TG33 他 通称名：グレンジャー	29	平成19年 4月17日～ 平成19年 7月14日
不具合の部位等	<p>運転側の座席において、座席を調整するスイッチ内部にあるスチールボールの防錆処理が行われていないものがある。そのため、使用過程でスチールボールが錆びてスイッチの動きが悪くなり、最悪の場合、走行振動等で接点が接触し、意図せず座席が動くおそれがある。</p>			

7. 届出者：エム・エス・ケー農業機械株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
11月15日	外 2389	車名：フェント 型式：不明 通称名：F722VARIO S4 他	2	平成27年11月24日～ 平成28年 1月19日
不具合の部位等	<p>農耕トラクタの油圧回路において、ノイズインシュレーター（油圧回路の作動音を低減する部品）の溶接が不適切なため、稼働時の油圧により溶接部に亀裂が生じることがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、亀裂が進展して作動油が漏れて警告灯が点灯し、最悪の場合、走行および操舵不能となるおそれがある。</p>			

8. 届出者：ボルボ・カー・ジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
11月22日	外 2386	車名：ボルボ 型式：CBA-BB6304TXC 他 通称名：ボルボXC70 他	23	平成26年 8月 6日～ 平成26年 8月19日
不具合の部位等	<p>右側排気管の材質が不適切なため、排気管と消音器の溶接部の耐食性が不足しているものがある。そのため、溶接部が腐食し、走行振動等で溶接部に亀裂が入り、排気ガスが漏れるおそれがある。</p>			

9. 届出者：ロールスロイス モーターカーズ リミテッド

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
11月22日	外 2413	車名：ロールスロイス 型式：ABA-664S 他 通称名：ゴースト SWB 他	50	平成23年12月15日～ 平成24年7月6日
不具合の部位等	衝突を検知する加速度センサーにおいて、センサー内部の制御プログラムが不適切なため、衝突時に正しい加速度を算出することができず、エアバッグコントロールユニットからエアバッグの展開信号が発信されない。そのため、サイドエアバッグ以外のエアバッグとシートベルトプリテンショナーが作動せず、乗員が過度の傷害を負う可能性がある。			

※ 平成28年11月22日 公表済み

10. 届出者：コベルコ建機株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
11月25日	3934	車名：コベルコ 型式：CM03L 他 通称名：MK650	10	平成26年12月5日～ 平成28年2月16日
不具合の部位等	ディーゼル排気微粒子除去フィルター（DPF）再生用の負荷掛けバルブにおいて、バルブの作動圧力の設定が不適切なため、当該バルブが振動し、作動油の配管ホース口金部に亀裂が生じるものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、亀裂が進展して作動油が漏れ、最悪の場合、操舵および走行ができなくなるおそれがある。			

11. 届出者：ビー・エム・ダブリュー株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
11月28日	外 2406	車名：BMW 型式：DLA-2Z15 通称名：BMW i8	7	平成27年10月22日～ 平成27年10月28日
不具合の部位等	動力伝達装置において、左リヤドライブシャフトの資材管理が不適切なため、誤った材料でドライブシャフトが製造されているものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、駆動トルクによってドライブシャフトが破断し、後輪へ駆動力が伝達できなくなるおそれがある。			

1 2. 届出者：日野自動車株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
11月29日	3937	車名：日野 型式：QSG-HL2ANAP 他 通称名：日野ブルーリボン ハイブリッド	51	平成27年11月13日～ 平成28年10月13日
不具合の部位等	<p>大型ハイブリッド路線バスにおいて、</p> <p>①ファンベルトの耐久性不足およびアライメントの調整とテンションロッドの締付けが不適切なため、ベルトが早期に摩耗しプーリから外れるものがある。そのため、水温が上昇してオーバーヒートとなるおそれがある。</p> <p>②ハイブリッドシステムの制御プログラムが不適切なため、低速で減速している状態で一定速度以下になった場合、エンスト防止機能が働きクラッチが切れるが、その後、モータ駆動に切り替わらず加速できないおそれがある。</p>			

1 3. 届出者：井関農機株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
11月30日	3952	車名：キセキ 型式：T237F 他 通称名：RTS25 他	72	平成28年 4月11日～ 平成28年10月 6日
不具合の部位等	<p>農耕トラクタにおいて、空調装置のヒーターホースの配索が不適切なため、燃料のリターンホースがヒーターホースと接触して曲がることがある。そのため、エンジンの振動によりリターンホースに亀裂が生じ、そのままの状態で使用を続けると、亀裂が進展し、リターンホースから燃料が漏れるおそれがある。</p>			

1 4. 届出者：ピアッジオグループジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
11月30日	外 2367	車名：アプリリア 型式：ZD4TW 通称名：RS4 125	23	平成25年11月11日～ 平成26年 8月26日
不具合の部位等	<p>燃料装置において、フューエルパイプの製造が不適切なため、誤った材質が使用されているものがある。そのため、耐久性が不足し、燃料の脈動によって亀裂が入り燃料が漏れ、最悪の場合、車両火災に至るおそれがある。</p>			

15. 届出者：ピアッジオグループジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
11月30日	外 2371	車 名 : アプリリア 型 式 : ZD4VK 他 通称名 : Caponord 1200 ABS 他	29	平成26年 8月26日～ 平成26年12月 9日
不具合の部位等	<p>制動装置において、フロントマスターシリンダーのブーツの形状が不適切なため、ブレーキをかけた際にブーツ内の空気が外部へ排出されにくい。そのため、アンチロックブレーキシステムが作動すると、マスターシリンダー内のピストンが繰り返し作動してブーツ内の空気がブレーキの油圧回路内に侵入し、最悪の場合、制動停止距離が長くなるおそれがある。</p>			

【参考】

●平成28年11月のリコール届出総件数

		内 訳	
		対象台数100台以上	対象台数100台未満
国産車	29 (+5)	24 (+10)	5 (-5)
輸入車	21 (+10)	11 (+2)	10 (+8)
小計	50 (+15)	35 (+12)	15 (+3)

※ ( ) 内は、対前年同月比

●リコール届出件数及び対象台数 (平成28年度)

〈速報値〉

月				対 象 台 数		
	国産車	輸入車	合 計	国産車	輸入車	合 計
4	17(-5)	12(+11)	29(+6)	1,983,793(-29,759)	26,163(+26,065)	2,009,956(-3,694)
5	9(-10)	4(-11)	13(-21)	105,591(-4,258,536)	3,211(-63,982)	108,802(-4,322,518)
6	28(+10)	11(-3)	39(+7)	4,733,139(+4,072,121)	100,979(+79,887)	4,834,118(+4,152,008)
7	23(+3)	14(+2)	37(+5)	960,458(-1,479,908)	23,973(+12,708)	984,431(-1,467,200)
8	15(+13)	3(-2)	18(+11)	149,613(+148,952)	410(-2,164)	150,023(+146,788)
9	16(-8)	12(-5)	28(-13)	1,549,950(+558,329)	126,119(+74,688)	1,676,069(+633,017)
10	15(-3)	14(-3)	29(-6)	1,528,700(-331,484)	222,885(+208,206)	1,751,585(-123,278)
11	29(+5)	21(+10)	50(+15)	924,643(-1,691,050)	44,258(+37,989)	968,901(-1,653,061)
小計	152(+5)	91(-1)	243(+4)	11,935,887(-3,011,335)	547,998(+373,397)	12,483,885(-2,637,938)

※ ( ) 内は、対前年比